

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0024 堺市堺区向陵中町2丁5-10 杉本ビル5-B・Tel: (072) 255-1200 番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 PANTARON Tel: (072) 228-3988 番 (魚太郎直通電話)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

ガバナー(第2640地区) 久保治雄(クボ ハルオ)

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.org/kubo/>

E-mail : kubo-2013@rid2640.org

会長: 城岡陽志 幹事: 中川 澄 広報委員長: 池田茂雄 編集者: 綿谷伸一

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会

2013年12月6日(金)第1594回

卓話 「阪堺線の取り組みについて」

卓話者 堺市建築都市局交通部

理事 田村啓一郎様

紹介者 堀畑好秀 会員

今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」

「雪の降る街を」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(12月度)

泉谷一郎会員(4日) 塩見 直子様(3日)

嶽盛 幸子様(25日) 堀畑キヌ子様(26日)

澤井 ふみ様(30日)

○結婚記念祝い(12月度)

泉谷一郎会員(4日)

前回例会の報告

2013年11月29日(金)第1593回

卓話 「テーブル会議」

議題: 会員増強について

今週の歌 「日も風も星も」

「かあさんの歌」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

<11月22日(金)の出席報告>

会員数(会員32名・準会員1名) 33名

出席会員 16名

出席準会員 0名

欠席会員 16名

ゲスト 0名

ビジター 0名

10月18日(金)の出席率 80.64%

次回の例会

2013年12月13日(金)第1595回

卓話 「上半期を顧みて」

卓話者 城岡 陽志 会長



2013-14年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

国際ロータリー会長 ロンド・バートン(ノーマン・ロータリークラブ)

卓 話

「 テーブル会議 」

会 長 城岡 陽志
会員増強委員長 山ノ内修一

11月29日の卓話の時間に「テーブル会議」を開催しました。テーマは「会員増強について」。

司会の山ノ内増強委員長より、まず、増強の必要性、増強の現状についての報告がなされ、その後、5名の会員に質問をし、それぞれ下の回答を得ました。

司 会：池田会員にお尋ねします。クラブがクラブとして健全に活動していくには、財務的に最低何名の会員が必要と考えますか？

池田会員：やはり、最低、現状の32名は要るでしょう。会員数が28名だった昨年は約100万円の赤字でしたからね・・・。

司 会：堀畑会員、会員増強についてのご意見を・・・。

堀畑会員：会員のクラブを良くしようという意欲の問題。過去、最高時には59名の会員を数えた。社会状況の変化もあるが、増強に向けてリスタートすべき。地区の問題もあるが、クラブ中心に考えるのが良い。

司 会：畑中会員にお尋ねします。入会して良かったですか？

畑中会員：ポリオや米山についての奉仕活動は入会してから知った。いいことなのでもっと広く世間にアピールすべきでは・・・。友達は誘いたいと思う。

司 会：同じ質問を池永会員にも・・・。

池永会員：入会して良かったと思う。いろんな方と出会えて勉強になっている。

司 会：最後に中田会員、何かご意見があれば・・・。

中田会員：新しい会員には、世界遺産登録を目指している仁徳稜の清掃や、国際奉仕関係にぜひ参加してほしい。参加することにより、クラブの奉仕活動への理解が深まると思うので。

司 会：時間の関係でここまでですが、突然の指名にもかかわらず、お答えいただいた皆様に感謝します。ありがとうございました。

会 長 の 時 間

会長 城岡 陽志



先日地元の人幡浜市で講演を頼まれ、行ってきました。港町ブルースに出てくるほど昔は有名なトロール漁船の町でしたが今は見る影もありません。

しかし、町村合併などで海を埋め立て、道の駅のような商業施設をつくり、懸命に発展を模索している仲間たちに感動をしました。今全国的に地方は疲弊して、商店街はシャッター通りになっています。

イオンや山田電気、ニトリホームセンター、レストランチェーンなど、大型店舗が近隣の需要を網ですくうように取り込むので、町の電気屋、金物屋、洋品店、駄菓子屋など、経営が立ち行かなくなっています。

おのずと町の触れ合いや、絆が希薄となり子供の教育上もいい影響はありません。「大型店舗法」で規制はしていますが、競争原理、規制緩和の流れには勝てません。何かがおかしいといつも感じます。

先日広島高等裁判所で一票の格差問題で、岡山の選挙がとうとう無効判決が出ました。格差をなくそうと思えば、地方の議員は減り、都会の議員ばかりになります。どうして少数の地方の声を、届けるのでしょうか。

都会の議員には、地方のことは理解できません。

憲法を否定はしませんが、何かがおかしい。

今回田舎へ帰り、考えさせられました。



委員会報告

ゴルフ同好会

代表世話人 塩見 守

第81回北輪会ゴルフコンペのご案内



会員の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび「第81回北輪会ゴルフコンペ」を下記の様に企画開催させて頂く運びとなりました。

ご多忙の折りと存じますが、万障お操り合わせの上是非ご参加賜りたくご案内申し上げます。

記

日 時：平成26年1月5日(日)

場 所：天野山カントリークラブ TEL:072-284-1919

集 合：午前7時20分

スタート：午前7時53分(5組予定)

会 費：6,000円(賞品及び会食代金)

競技方法：18ホールストロークプレイ

世 話 人：塩見 守・中田 学・綿谷伸一

エントリーの都合上締切日までに事務局までご回答願います。

締 切：平成25年12月13日(金)

以上

広報委員会

広報委員会 委員長 池田茂雄

「ホームページの更新」



「堺北RC・ホームページ更新」は、概ね2ヶ月に1回行っており11月23日(土)に今年度第3回目の更新を行いました。今回は、「堺北基金・財団・米山」各寄付金の会員個人別情報一覧表をより見やすくなるよう改善いたしました。クラブニュースや毎週の「クラブ週報」など当クラブの情報、特に「会員専用ページ」には会員個人の各種情報がいっぱいです。我が「堺北ロータリークラブ」の各種情報がいっぱいの保存用倉庫です。アクセスが増加しております。有り難うございます。

S A A 報告

徳田 稔会員 長い間勝手してすみません。

木畑 清会員 おくればせながら、過日のグルメの会に多数出席頂きまして有難うございました。

藤永 誉会員 寒さが厳しくなってきました。カニ・フグが僕を呼んでます。

合計 9,000円

幹事報告

(1) 配布物 週報

(2) 他クラブ例会変更のお知らせ

・高石ロータリークラブ

12月24日(火)→同日18時～クリスマス家族会
於、南海グリル東店

12月31日(火)→定款第6条第1節により休会

1月2日(木)→定款第6条第1節により休会

1月7日(火)→1月9日(木)18時30分

「高石3RC合同新年会」 於、サンルート関空

今週の歌 「雪の降る街を」



雪の降る街を 雪の降る街を
思い出だけが 通りすぎて行く
雪の降る街を
遠いくにから 落ちてくる
この思い出を この思い出を
いつの日か つつまん
あたたかき しあわせのほほえみ

ロータリーに支えられアメリカで夢をかなえる

私は幼い頃、家族でベトナムから米国に移住しました。共産党の支配下にあったベトナムよりも、よりよい生活を子どもたちにさせたいと父が願ったのでした。しかし、新天地の米国でたどり着いた町は、カリフォルニア州オークランドの低所得者地域。毎晩、銃声が鳴り渡るような地域に住み、また私が通ったフレモント高校は、地域で最も評判が悪く、貧困と暴力が絶えず、中退率が高いことでも有名でした。

高校3年のある日、ロータリアンのグループが私のクラスを訪れました。彼らは、オークランド・ロータリークラブの主催する「起業家塾」(Enterprise Institute)について話に来たのです。この起業家塾は3日間の合宿で、高校生がビジネススキルを学ぶというものでした。サンタクルーズ山中に滞在し、ほかの高校生とビジネスプランをつくることにそれほど関心があったわけではありません。しかし“ビジネス”といえば葬儀屋、酒屋、麻薬ディーラーしかない地元を数日間でも逃れられるなら、と起業家塾への参加を決めました。

この起業家塾では、新しい世界を目にすることができました。私と同じ年頃の参加者は、プラトンやシェイクスピアを話題にするような学生たちでした。襲撃事件や銃犯罪にまみれた自分の地元とは全くの別世界です。この合宿で「起業家」という言葉を初めて耳にし、自分よりも遥かに優秀な学生に囲まれて、いかに勉強不足であるかを実感しました。切磋琢磨して事例研究に取り組み、独自のビジネスプランを作る中で、犯罪や刑務所とはかけ離れた別世界での未来を思い描くことができました。大学進学や、将来のビジネスについて語る高校生たちに混じって、自分も同じような未来を歩みたいと思うようになったのです。自分の境遇を考えると、同じ夢を達成するには、ほかの学生の何倍も努力しなければならないと分かっていました。しかしこの合宿が転機となって、大志を抱き、夢に向かって全力で努力しようと決意するようになりました。

一步一步、夢に向かって

貧しい家だったので、大学進学には奨学金が必要でした。しかし移民であることを理由にほとんど奨学金が得られず、20通出した申請書のうちで唯一、奨学金を提供してくれたのはオークランド・ロータリークラブでした。

ロータリアンが私と面談し、生い立ちと将来の夢を聞いてくれました。応募者はほかにもたくさんいただろうと思いますが、最終的には私に5,000ドルの奨学金を提供してくれました。これは私を信頼してくれた何よりの証です。この奨学金のほかにも学生ローンを借りて、大学に進みました。

奨学金で寮費と教科書代を工面して、進学したのはカリフォルニア大学デイビス校です。最初の3年間は、奨学金のおかげでアルバイトせずに学業に専念できました。オークランド・ロータリークラブの会員、テリー・ターナーさんが私のカウンセラーとなってくださり、いつも学業はうまくいっているかと尋ねてくださいました。それに対して、私は率直に、勉強についていくのが難しいことを打ち明けました。私の高校は、卒業後にカリフォルニア大学へ通えるレベルの教育を行っていませんでした。ターナーさんは辛抱強く私にアドバイスをしてくださり、私もそれに耳を傾けました。母校の高校からこの大学に通う学生がほかに3人いましたが、2学期が始まる頃には3人も退学し、残るは私一人だけでした。

私はあの「起業家塾」をきっかけに夢に向かって歩き始め、ロータリーの奨学金に支えられて、夢に向かってまい進することができたのです。

大学を卒業して、いくつかの中小企業で仕事をした後、2004年に「ノバテック PC」という会社を立ち上げました。起業とともに、オークランド・ロータリークラブにも入会しました。クラブでは、私の新しい会社の顧客になってくれた会員もいます。この会社は成長して、今では3名の従業員を雇うようになりました。私生活では、結婚して二人の娘に恵まれています。

昨年、妻と長女を連れてベトナムを訪れました。30年前に離れた故郷は小さな漁業町でしたが、今では急速に発展する近代都市に変貌していました。また米国で私が育ったオークランドの家も様変わりし、よく遊んだバスケットボール場は住宅複合施設になっていました。今でも変わらず続いているものといえば、オークランド・ロータリークラブの起業家塾です。30周年を迎えた現在も、高校生を集めて合宿を行い、ビジネスの世界でキャリアを築く方法を教えています。私もこの起業家塾を支援して7年が経ち、共同委員長を務めるようになりました。今私がこうして支援するのは、起業家塾が未来に対する青少年たちの考え方を変え、より明るい将来への希望を与えてくれると、身を持って知っているからです。

4-NOV-2013 語り手: Daniel Mai, 執筆: Katya Cengel

この記事は、[ザ・ロータリアン](#)誌2012年9月号に掲載されたものです。